

令和7年度 第3回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年12月16日（火）14時30分から15時45分まで
- 2 開催場所 気田小学校 会議室
- 3 出席委員 森下 薫、山下 太一郎、酒井 祐也、清水 恭子、森下 裕子
- 4 欠席委員 山下 晃二、福島 亜弥、正久 幸廣
- 5 オブザーバー 勝又 真希（気田幼稚園園長）、田中 謙詞（春野支所）
- 6 学 校 小澤 真喜子（校長）、野嶋 孝弘（教頭）、田代 萌（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 田代 萌（CS ディレクター）

- 9 議長の選出 司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、森下薫会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

- 10 協議事項
 - （1）今年度の取り組みについて
 - ・コミュニティ・スクール関連行事
 - ・地域の「人・もの・こと」から学ぶ活動
 - （2）ふるさと春野のよさや目指す子供像の具現に向けた話し合い
 - （3）連絡事項
- 11 会議記録

司会の野嶋孝弘から、委員の参加者数が既定の数（8人中5人）に達しているため、会議が成立する旨の報告があった。

 - （1）今年度の取り組みについて
 - ・コミュニティ・スクール関連行事資料のP9,10を基に、校長から各行事の説明があった。（委員からの意見は特になし。）
 - ・地域の「人・もの・こと」から学ぶ活動資料のP11,12,13を基に、校長から各行事について説明があった。行事について委員に意見を求めた。
 - 今年度は気田小学校にはアサギマダラが1羽だけ飛来しました。（教頭）
 - アサギマダラが昨年と今年は猛暑の影響で減少傾向にある。幼虫はキジョランという植物にいる。春野にはあまりなく、もっと寒い山梨県などの春野より北に生える。（山下太委員）

→フジバカマには幼虫はつかないのか？（教頭）

→フジバカマには蜜を吸いに来る。フジバカマにはスタミナをつける何かがあるのか？と思っている。（山下太委員）

→貴重なアサギマダラが、フジバカマを植えたことによってちゃんと来てくれたことはとても喜ばしい。（会長）

- 3・4年の川の生き物調査では、絶滅危惧種Ⅱ種のアカザという魚がいた。水温が低い清流でないと生息

ができないため、気田川の清らかさを再確認できたい経験になりました。(教頭)

(2) ふるさと春野のよさや目指す子供像の具現に向けた話し合い

グループに分かれ話し合い、意見を発表した。

- ・ふるさと春野のよさや目指す子供像にむけて

【A グループ：森下会長、清水委員】

- ・節分のいわしの頭と柊を吊るす文化について
- ・しめ縄、草履の作り方を伝えられないか。
- ・勝坂神楽は途絶えないように伝えてもらいたい。
- ・祭りのお囃子、太鼓など児童が減少して受け継ぐ世代がいなくなっても消えないようにできないか。
- ・運動会に組み込んだり、地域の人に教えてもらったりして、大人数で取り組めないか。
- ・例年の茶摘み以外にも、品評会に向けてボランティアで行う茶摘みがある。そこに参加できないか。

【B グループ：山下太委員、酒井委員、森下委員】

- ・気田幼稚園が休園になるので、気田幼稚園が独自で行っていたことを低学年向けにやれないか。
- ・今後春野地区に児童数が減るので犬居小学校や春野中学校と連携して行事ができないか。
- ・勝坂神楽、秋葉の火祭り、秋葉太鼓、保存会があるが児童との関わりが少ないので、触れさせられないか。
- ・春野の自然、特産品など少人数なら受け入れられるところがあれば知る機会を作ってあげられないか。
- ・児童達に興味がないと学ぶ気にならない。好きになってもらうことが1番であると思う。
- ・学ぶことはたくさんあると思うが、どうやって春野を好きになってもらうか話し合っていきたい。

→子供たちに春野が好きになってほしいという意見に同意である。お祭りが好きな児童もいるので少しでも残せるように伝えていけたらと思う。(勝又園長)

→お茶摘み、勝坂神楽、お祭りを児童に伝えていくことで地域の大人と児童の関わりを絶やさずにずっと関わり続けられることは、とても良いことだと思う。(田中)

→「春野を知って、春野を好きになる」という大事なキーワードをいただいたので、その方向で検討をこのまま続けていきます。(教頭)

(4) 連絡事項

教頭から、今後の学校運営協議会の開催日時と次回の内容について連絡があった。

第4回 令和8年2月27日(金) 14時30分～15時30分

- ・学校評価の説明
- ・自己評価の振り返り
- ・令和8年度の学校経営の説明と承認